

# 未来創造研が旗揚げ 長岡

高圧処理技術を活用し、

加工食品分野などで新商品開発を目指す「H・P未来産業創造研究会」の設立総会が十三日、長岡市の長岡商工会議所で開かれた。

同市や周辺市町村の食品や機械産業などの業界から四十六社が参加。会長に高

圧処理を約十年間研究し実行化にこぎ着け、同研究会

で技術提供、指導を行う越後製菓（同市）の山崎彬社長を選任した。

千気圧単位という超高压での加圧処理は、食品の成分が失われず、殺菌効果もあることから安全で新鮮な加工食品の製造が可能という。

研究会では高圧処理技術を生かした新商品、新市場の開拓や技術の指導、助言、勉強会の開催などの事業を

行う。

設立総会で山崎会長は「まず、勉強会や研修などを重ね、どんな商品を考えているのか各企業のアイデアを聞く。実現可能な候補を八月くらいに十品目ほど挙げたい」と抱負を語った。

